

鹿児島大学・新潟大学・山梨大学3センター合同

第3回 日本の酒 シンポジウム

2023.
9.30土
12:20-18:45

楽酒～焼酎・日本酒・ワイン～
日本の酒を語る

山梨の
ワイン



鹿児島の
焼酎



新潟の
日本酒



会場

第1部 山梨大学 甲府キャンパス S1-11 教室
(山梨県甲府市武田 4-4-37)

第2部 ホテル談露館
(山梨県甲府市丸の内 1 丁目 19-16)

定員

第1部 対面：50名 / オンライン：300名 (参加費 無料)

第2部 対面：100名 (第2部からの参加者定員 / 参加費 2000円)

※定員になり次第、締め切らせていただきます。(抽選を行う場合もあります)

▼申し込みはコチラ▼



QRコードまたは
下記アドレスより
お申し込みください

<https://forms.gle/wd5dVfEx8JZDkWUf7>

申込期限 9月24日(日)

主催 山梨大学生命環境学部

共催 鹿児島大学農学部附属焼酎・発酵学教育研究センター
新潟大学日本酒学センター
山梨大学ワイン科学研究センター

協賛 一般社団法人山梨工業会、バイオコミュニティ関西 (Block)、
豊前医化株式会社

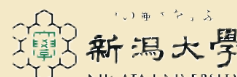
後援 山梨県、山梨県ワイン酒造組合、山梨県酒造協同組合、
日本食品海外プロモーションセンター (JFOODO)、ジェトロ山梨、
ジェトロ新潟、ジェトロ鹿児島、公益社団法人やまなし観光推進機構、
山梨日日新聞社・山梨放送、共同通信社

【シンポジウムについての問い合わせ先】

山梨大学生命環境学域支援課 (担当：石井・小野)

TEL : 055-220-8801・8802

E-mail : siens-soumu@yamanashi.ac.jp



シンポジウム趣旨

鹿児島大学農学部附属焼酎・発酵学教育研究センター、新潟大学日本酒学センター及び山梨大学ワイン科学研究センターは、それぞれの地域に根ざした酒類に関する教育、研究、地域貢献、人材育成並びに国際交流を行う国立大学の組織としての特徴を有しています。3センターは令和3年9月30日に組織的な連携協定に合意し、教員、学生の相互訪問による連携強化や相互理解の深化を図るとともに、各大学の学生が、さまざまな酒類に関する特徴ある講義、実習を受講できる共通履修プログラム構築を行うことで、多種多様な酒類に精通した人材の育成並びに地域貢献につなげることを目指しています。

今年度は、第3回日本の酒シンポジウムを山梨県で開催し更なる3センターの連携強化を目指します。

タイムスケジュール

第1部			
12:20	開会あいさつ	山梨大学理事・副学長	黒澤 尋
12:25	来賓あいさつ	山梨県ワイン酒造組合会長	有賀 雄二
12:30	日本の酒 各センターの取り組み	鹿児島大学焼酎・発酵学教育研究センター長 新潟大学理事・日本酒学センター長 山梨大学ワイン科学研究センター長	玉置 尚徳 末吉 邦 鈴木 俊二
13:15	日本の酒 最先端研究	焼酎「酒薬同源 - 発酵させる薬「神麴」の研究 -」 鹿児島大学焼酎・発酵学教育研究センター 元特任助教 日本酒「日本酒の海外展開と国内市場の新たな展開」 新潟大学日本酒学センター 副センター長 ワイン「ゲノム情報の活用～ブドウ・ワイン研究への新展開～」 山梨大学ワイン科学研究センター 助教	奥津 果優 岸 保行 榎 真一
14:15	特別講演	『日本の酒』との連携強化とバイオエコノミーの発展」 バイオコミュニティ関西事務局長	高田 清文
14:30	閉会あいさつ	山梨大学生命環境学部長	鈴木 俊二
14:35	閉会		
第2部			
15:30	開会あいさつ	山梨大学生命環境学部長	鈴木 俊二
15:33	来賓あいさつ	山梨工業会理事長 山梨県産業労働部産業振興課課長	泉 一郎 古屋 幸一
15:40	日本の酒 楽しい飲み方講演	「焼酎」 鹿児島大学客員教授 「日本酒」 新潟大学日本酒学センター 副センター長 「ワイン」 日本ソムリエ協会名誉会長 「ウイスキー」 サントリー名誉チーフブレンドラー	鮫島 吉廣 平田 大 岡 昌治 輿水 精一
17:00	休憩（テイasting準備）		
17:10	日本の酒 テイasting		
18:40	閉会あいさつ	山梨大学理事・副学長	黒澤 尋
18:45	閉会		